第5回 福井市都市計画マスタープラン等策定委員会 議事録(要旨)

日　時 ： 令和6年11月11日(月) 10:00～11:10
会　場 ： 福井市 上下水道局庁舎3階 301会議室
出席者 ： 別紙のとおり
事務局 ： 福井市都市政策部都市計画課

【議事内容】

〇事務局

＜議事 分野別構想について説明＞

〇委員長

前回のマスタープランから時代が大きく変化しており、福井市においても状況の変化がある。

そういった変化に伴って、迅速に都市計画マスタープランを改定するのも大事なことかなと思っているので、多分そのあたりが中心になると思うが、議論を開始させていただきたい。

ただいまのご説明の内容の中で、ご意見、ご質問があったら、どんなことでも結構なので、ご発言いただきたい。

〇委員

第 2 節の交通体系整備の方針の中に、福井市も国交省に要望しているので、福井南スマート IC の整備促進の記載を入れていただきたい。

福井市の西側に住んでいる方はほとんど、鯖江 IC から乗っている。福井南スマート IC ができると、福井市の西側に住んでいる方はほとんどそこから高速へ上がるのではないかと思う。実現できるといいかなと思っているので、この中にぜひ入れていただきたい。

〇事務局

福井南スマート IC についての記載は、現状の改定案では、17 ページ一番上のⅲ)幹線道路ネットワークの配置・整備方針の中の広域幹線道路の項目中の赤字の部分となっている。

〇委員

実際市長が国交省に要望している話であり、重要要望事項であるから、当然挙げるべきだと思う。

〇事務局

関係所属と協議をしながら、検討していきたい。

〇委員

３節の「公園や緑化」、４節の「住み良い環境づくり」にもつながっていくと思うが、子どもNPOセンターでは、放課後児童クラブの運営のサポートをしている。

福井市も含め、どこの市町もそうだと思うが、最近は子どもたちが、どこかに預けられて放課後を過ごすということが普通になってきてしまっている。要因として、子どもが安心して外で遊ぶ環境や友達と遊ぶ環境が、あまりつくられておらず、ネットワークがつくりにくい状況もあるのかなと思う。

なので、この住み良い環境づくりとしての視点の中にも、子どもが遊びやすいとか子どもが交流しやすいような場をつくれるような文言が入るといいのかなと感じる。

具体的に何かを入れるということではないが、福祉の観点のところにも入ってくると思うし、公園の整備とかいう考え方もあると思う。

小学校・中学校・高校の子どもたちがいる場所のような文言を入れていただけると嬉しいと思う。

〇事務局

子どもたちの遊び場というところは、公園の中にも盛り込んでおり、また、そういったところへ行く環境として、歩行者空間にも、安全・安心という考え方を盛り込んでいる。

地域との繋がりとか、小学生だけでなく中学生といったところで、今回の改定では、住み良い環境づくりの中に、公民館の記載を盛り込んでいる。

意図としては、福井市では、小学校区単位に公民館がある。そういったところで、他の世代とも交流しながら、まちの中で遊んだり、繋がりを持てるようにということで、盛り込んでいる。

〇委員

福井市は特殊で、各学校に１個、校区内に児童館がある。ここに児童館を入れていただけるとより良いのかなと感じる。

〇事務局

児童館も確かに小学校区に１つずつあるので、関係所属と協議をしながら検討していきたい。

〇委員

河川の整備方針で、赤字で「被害を可能な限り軽減するよう河川の整備等を推進します。」とあるが、被害が少しあってもいいというように読み取られるので、この文言を消して「河川の整備等を推進します」だけにした方が文言的にはいいのではないか。

観光まちづくりについて、実は福井市はインバウンドが少ないので、このままの文言でいい

のかどうか疑問である。
　地域間競争はますます進んでいくし、きちんと福井市として、インバウンドにもう少し力を入れていくという表現にしたほうがいいと思う。
　また、一乗谷朝倉氏遺跡についてだが、世界遺産を目指すためには英字なども入れて、広域連携をやらなければならない。そこで、マスタープランとしては、何かそういう方向を目指すような文言を入れていただけると担当課としても予算が取りやすいのかなと思う。

〇委員長
　3 点のご意見があったと思うが、どうか。

〇事務局
　1 つ目が河川、2 つ目 3 つ目が観光関連のことかと思うが、いずれも関係所属と協議させていただきながらつくり上げてきたところなので、今いただいたご意見についても、再度関係所属とも協議をしながら検討していきたい。
　その中で、都市計画マスタープランというところで、最終的には都市計画に行き着くという部分もある。そこのバランスが難しいところもあるので、そこを勘案の上検討させていただきたい。

〇委員
　ちょっとお伺いしたいが、居住誘導区域とハザードマップなど、防災的なもののリンクを示したような図はあるのか。

〇事務局
　都市計画マスタープランの改定に合わせて、立地適正化計画というものも改定を行っている。その中では、防災面を主として、改定を行っている。今回の改定では、そこをしっかり考えた上での居住誘導区域の設定などの改定作業をしていくことになる。

〇委員
　今の段階では、立地適正化計画の方で表現するということか。

〇事務局
　そちらで検討しているということになる。また、都市計画マスタープランの中に立地適正化計画というのが位置付けられている。

〇委員
　今、災害で大変な状態になっているので、すごく関心があるところではあると思う。

〇事務局

マスタープランを改定するに当たって、市民意識調査を行ったが、その中でも今まちづくりにおいて、何に関心がありますかという質問に関しては、一番が防災、そのあと公共交通などだった。

今年の１月に能登で災害があった。そういった災害がどこにでも起こり得るようになっている。都市計画においてもそういった災害リスクを考慮することが必要になってきており、そこも併せて検討を進めている。

〇委員長

次回にでも、立地適正化計画の検討の結果を少しお披露目してもいいかもしない。

〇事務局

次回、この策定委員会の中でも、居住誘導区域、そして災害リスクに少し触れる形で、ご説明させていただければと思う。

〇委員

41 ページになるが、福祉・健康のまちづくりということで、ハード・ソフトの両面から記載されており、とても大事なことかなと思って見させていただいた。

私も実際にまちの中を、車椅子の方とか、目の見えない方とか、子どもと一緒に歩くこともあるが、その中で、例えば歩道の幅が広がっているところや、綺麗になってるところも、随分増えてきたと思う。

そういうところでも例えば自転車が駐輪してあって、車椅子の人だけちょっと通れなくなっていたり、ごみ箱や看板などがあったり、一緒に歩いてみると、ちょっと通れないなというような場面も多々あると思っている。

ソフト面で、例えば市民一人一人の意識の部分に、働きかけていくということも大切なのかなと思っているので、何かそういうような記載を一度ご検討いただけるとありがたい。

〇事務局

市民一人一人の意識づくりというようなことは、確かに福祉を考える上で非常に重要なことだと思っている。

先ほどもあったように、都市計画にかかるマスタープランという中で、書きたい部分もあるけれども書けないというものもあったりするが、いただいたご意見について、記載できるかどうかを関係所属も含めて協議し、検討させていただきたい。

〇委員長

関係部局と連携をとって、お願いしたい。

〇委員

先ほど委員長からも、周りの情勢に合わせ、こういったマスタープラン等も変わっていくというお話があったと思う。

前回の策定委員会から今回にかけて、アリーナ構想が結構、進んだかなというような印象を持っている。それが今回の案の中にどのように反映されてるかというのが１つ。

２つ目が 3.歴史の見えるまちづくりについてだが、先日関西から来た友人が一乗谷朝倉氏遺跡に行ったのだが、行き方がすごく不便だったと言っていた。

先ほど世界遺産に、という話もあったが、そういった観点から、交通体系の整備、特に一乗谷朝倉氏遺跡に関するいわゆる２次交通について、どのようなお考えなのかをちょっと教えていただきたい。

〇委員長

それでは、２点についてお願いしたい。

〇事務局

まず１つ目について。

アリーナについて、43 ページに「広域的な玄関口となる福井駅東口エリアでは官民連携のもと、都心部全体のにぎわいの創出に繋がる都市機能誘導施設（アリーナ等）の立地促進を図ります」という形で記載している。

マスタープランの上位計画である、県の「福井都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の中でも「福井駅東口エリアでは、新たなにぎわい交流拠点となる都市機能増進施設を誘導するため、複合的な土地利用を図る」というような方針が示されている。

そのような関連計画の内容と、アリーナ構想は合致すると考えており、マスタープランにおいても、まちなか地区、都心部に誘導すべき施設として、記載をしていきたいと考えている。

〇オブザーバー

一乗谷へ行く方法として、まずライナーという一乗谷に直接行くバスが、福井駅東口から出ている。

あともう１つ、JRが今行っている WOW RIDE という、VR、ARでその時代の風景を映しながら、一乗谷へ行くというものがある。あとは、越美北線。もう１つ既存のバスもあるが、便が少なくなったということで、厳しいということがある。

ただその他に、ふくアプリでふくいMaaSがある。そちらで調べていただくと、いろんな交通の中で最適なものが調べられる。

また、福井駅東口には、福井市観光交流センターの中に観光案内所がある。もう１つ福井駅西口にもあるので、そちらでお尋ねいただければ、最適なものはご案内できると思っている。

その辺をいろいろなところで PR はしていきたいと思っている。

〇委員

先ほど言い忘れたのだが、先日あわら温泉で、将棋の竜王戦っていうのがあり、藤井さんと佐々木さんが確か対局の前日に、一乗谷朝倉氏遺跡の酔象などを見て、かなり注目が集まってるのではないかと思う。

県外の人が来たときにそう言われたので、お伝えできればと。

〇委員

用途地域の変更については、少しでも早くしていかないと、隣が準工業地域でここだけ住宅という地域もある。用途変更していきますと書いているが、3 月、4 月になるとまた住宅がたくさんできてくる。今、情報を集めている中で、優先順位を付けてどんどん変更をお願いしたいと思う。

〇委員長

準工業地域の用途地域見直し、住宅地域への見直しということになると思うが、これについていかがか。

〇事務局

10 ページのvii）で用途地域の変更について、準工業地域で用途が混在するような状況というのは好ましくないと書かせていただいている。福井市身近なまちづくり推進条例というものがあるので、地域の皆さんで考えていただいて、用途地域の変更や地区計画というものを作っていただくということを周知、推進をしたいと考えており、今現状やっているところ。今後も頑張っていきたい。

〇委員

第 2 節の公共交通機関というのがやはり福井県、福井市の課題かなと思っている。

その中で、最近日曜日の最終便が夜の 7 時だとか、6 時半とかいうところが増えているので、働く人は帰れない。かといって車通勤では、駐車場もないという悪循環がある。案の中にはDXなどもあるので、お金はかかるが、ぜひ早急に無人バスだとか、また都心部にもしっかり走らせていただいて、住む人、働く人、利用者というところで、また一緒に考えていただければと思うので、よろしくお願いしたい。

〇事務局

京福バスの減便が、今年の 6 月と 10 月に行われ、乗客が少ない便を中心には減便した

が、やっぱり運転手不足を要因として、夜の便、8 時以降の便を切らざるをえないという状況になった。

もちろん運転手が増えればそういうところを中心に復便ということも検討はさせてもらっているが、なかなか現実問題としては、増えていかないということもある。

福井市としては夜の便を中心に復活して欲しいという要望は京福バスにはさせていただいているので、今後も京福バスの運転手が増えるような取り組みを後押ししながら、一緒に検討していきたいと思っている。

〇委員

ⅲ）既存の鉄軌道ストックを活かした施策の推進の 2 つ目にハピラインふくいの話が出ているが、利用促進ということで、持続発展させるためには、新駅は非常に大事。ここにも新駅の設置をしますという風には書いてあるが、これは具体的にもう場所が決まってるわけで、そこを明示していくのかということ。先ほどのICの話もあるが。

具体的に進めていくという話になった時に、この計画の中にしっかり書いて、やるよという意思表示ということも1つあると思う。あわせて、駅を作るだけでなく、その周りの土地利用のことも連動させるという話だと思う。

計画的な都市的土地利用の推進というところがあると思うが、ここで言ってるのはおそらくコンパクトなまちづくりのために開発を抑制するとか、今ある空き地などを有効活用しようというところだが、それだけでなく新たな土地の開発ということも全然否定するわけではないと思う。

そうしたときに、この利用促進とかということを絡めて、適正な土地利用の転換だとか、活用ということもやるよと、両面打っておかないと、全く何もやらないということだけでは、ちょっとどうなのか。本文でもその辺りのところが、どう読めるかなというところがあって、土地利用の連動とか調整も含めてという言葉をぜひ入れていただきたい。そうすることによって自由度も上がる。そこはあんまり決めつけずに行くということが、今後その可能性を広げるという面でも、必要なのかなと思うので、その辺りの文言の表現の仕方や具体性というところを検討いただければと思う。

〇委員長

地図に明記できるのではないかということと、新駅に関しては土地利用の連動を促進していくということかと思うが、いかがか。

〇事務局

ハピラインふくいの新駅については、13 ページに書いている。

また、ハピラインふくいにおいては、新駅のホームの基本設計を進めている。

まだ本市においてはホームの位置や、広場の整備を進めるための基本計画策定業務を行っ

ている最中であり、今ほどおっしゃったような、今後の土地利用については、また協議していくというような状況となっている。

〇委員

例えば 13 ページに図があるが、もう少し明確に位置はこの辺りであるということを書くべきではないか。新駅の話があったのにどうなったの、となるようではいけないと思うので、ちゃんとこの中ではっきり分かるようにしていただくようにお願いしたいと思う。

〇事務局

一度、検討させていただきたい。

〇事務局

立地適正化計画という計画が先ほど出たと思うが、その中でも今、新駅の記載を検討している。委員がおっしゃられた通り、新駅を作ることによって、利用者が増える。その駅の周りのまちづくりというか、どうやってその駅を活かしていくかというところも含めて、立地適正化計画でも記載を考えている。

〇委員

ハピラインふくいも福井県全体で考える必要があるのかなと思っている。

サンドームでイベントをやったら大体パンクの状態で、福井の方面にも、いっぱい泊っているという状況なので、福井市だけでなくて全体的にハピラインふくいについて考える必要があるのかなと。

イベントと一緒に、ハピラインふくいの共通券を出すとか、地域の方々のイベントの経費に少し協力していただけると公共交通を使ってもらう手法になるのかなと思っている。

そういった住民組織を応援するようなことも含めて公共交通を考えていただけると良いと思うので、何かそういうことも整理できるような文言をちょっと入れるといいのかなと。

〇事務局

まさにそういうところにすごく力を入れてるところで、ふくい MaaS という取り組みがある。デジタルの中で、そういう地域のイベントとコラボしたような切符をかなり出している。

地域のイベントというのも福井市だけではなく 11 市町連携でやっており、例えば三国祭りと、えちぜん鉄道がコラボしたような切符や、先ほどのサンドームの話で言うと、サンドームで大きなコンサートがあるときにだけ福井鉄道の臨時列車が走るが、その 100 円チケットというものをデジタルで販売しており、ここ最近のふくい MaaS のチケット売り上げで一番多い。

そういった取り組みを今後もどんどん増やしていきたいと思っているところで、どういう記載がいいのかはまた都市計画課と地域交通課が一緒に詰めながら考えていきたいと考えてい

る。

〇委員

私は東部の方に住んでおり、福井北ICの出入口をトラクターやコンバインで往復するというようなところに住んでいる。

近くに大型商業施設があり、そこへ行けば、車の駐車料金が無料だが、市内に出ようとすると、とてつもない料金がかかる。

越前島橋駅に無料駐車場ができた。3、4 年前ぐらいにでき上がったときにはガラガラだったが、最近はもうオーバーしている。そこに車を停めれば、無料で時間を気にせず市内にいれるという利点がある。

各駅にそういう無料駐車場をいっぱい作ったら、もっと市内が発展するのではないか。少し話が変わるが、別に優良農地を潰して、商業施設を作る必要はないと思う。市内にどんどん作ってもらえばそれでいいと思う。

もう 1 点、福井駅は看板が何もない。朝倉氏遺跡に行くのにどうやって行ったらいいか全然分からない。それから勝山の恐竜博物館行くのにどうやって行ったらいいのかと、福井駅内には何もない。

もう少しこのあたりを綺麗にして、わかるような形に持っていくといいのではないか、お願いしたいなと思っている。

〇委員長

2 点あると思うが、いかがか。

〇事務局

おっしゃっていただいた内容は非常に重要なことだと考えており、今回の改定の記載で申し上げると、まず 1 点目については 13 ページに「主要な鉄道駅周辺においては、パーク＆ライド用駐車場やサイクル＆ライド自転車駐車場機能の拡充等によるアクセス性向上を図ります」と記載をしている。

2 点目については、12 ページに観光客や来訪者のニーズへの対応や、ICT化の推進というような形で、書かせていただいている。

〇委員

今回のマスタープランの分野別構想だが、具体的な問題と、ある種の理念的な部分があるかと思う。

例えば、最初の方に理念として子どもたちの場所を確保しようというようなお話がでたと思う。

それに対して例えば新駅であるとか、スマートICの話は具体的な文言として書かれる部分

がある。
　具体的なところについては、例えば今回は話に出なかったが、県立大学の新学部などは現時点であまり言えない。来年度になって文科省が認可して初めて言えることで、言えないということもある。
　ですから、理念的な部分と、具体的なところ、例えば新駅であればもう場所もほぼ決まってるのであれば、書いたほうがいいという先ほどの話もある。具体的に書けるところと書けないところを、またこういう委員会の場でご説明をしていただくと皆様の理解が進むかなと思う。

〇委員長
　とてもいい議論だったと思うが、計画面と、それを具現化して実現していくというところで、議論がいろいろあったと思うので、関係各課に落としながら、進めていってもらえたらと思う。
　今日はこの辺にさせていただきたい。次回は主に地域別構想の議論をしたい。

〇事務局
　次回の委員会の場では、本日いただいたご意見等について、回答できるよう準備していきたい。
　次回は 12 月 24 日(火)9 時からの開催を予定している。
　これをもちまして、第 5 回福井市都市計画マスタープラン等策定委員会を終了させていただく。